



青い池とは

昭和63年12月に噴火した十勝岳の堆積物による火山泥流災害を防ぐため、美瑛川本流に複数の堰堤が建設されました。この堰堤はコンクリートブロックによるもので、平成元年に着工され同年年末に完成しました。美瑛川を横切る形で施工され、本流から離れた両岸の森林内部まで堰堤が造られた結果、美瑛川左岸側のブロック堰堤に水が溜まるようになり、周囲に植林されたカラマツは水没し立ち枯れました。そのため、目的を持って造られた溜池や貯水池などとは異なり、青い池は偶発的に人造池となったものです。



冬期限定の白金青い池ライトアップ

冬期間は積雪のため青い水面を見ることが出来ませんので、冬期限定ライトアップは、冬の白金青い池の楽しみ方になります。

ライトアップでは様々な照明パターンを用意しており、約10分間で一つのストーリーを表現します。あなたにとってお気に入りの瞬間に出会えるよう工夫しています。また、時間帯によって見学通路が混雑することもありますので特に三脚を立てて撮影を楽しまれる方は、通行の妨げにならないよう、見学通路を独占されませんようご協力をお願いします。

※点灯時間は、時期により異なります。

※悪天候時は中止する場合があります。詳しくは美瑛町ホームページをご覧ください。

※決められたポイント以外は大変危険な為、立ち入らないでください。特に池の中には入らないでください。湖面を歩くような危険行為は命にも関わります。絶対に柵から下りないよう、皆様をお願いします！



アクセス 349 568 888

青い池は道道966号線白金温泉に向かう途中にあります。道の駅びえい「白金ビルケ」から直結した約2kmの道路も是非ご利用ください。

車	美瑛市街地から	966号線で白金温泉方面、約17km上り、左に曲がります。
	白金温泉街から	966号線で美瑛市街に向い約3km下り、右に曲がります。
バス	『道北バス』路線バスに乗り『白金青い池入口』で降ります。青い池まで徒歩約5分です。	
自転車	舗装された美瑛川・青い池サイクリングコースで美瑛市街地から青い池まで行けます。約18km、片道70分かかります。	



青い池駐車場

駐車場使用料は白金地区の環境整備や維持管理に活用しています。混雑緩和のため、事前精算機での支払いにご協力ください。(精算した駐車券は出口にて使用しますので失くさずにお持ちください。)

お問合せは商工観光交流課 (0166-92-4321)



利用時間	夏期 (5月～10月) 7:00-19:00		冬期 (11月～4月) 8:00-21:30	
	二輪自動車 (※原動機付自転車を含む)		300円	
駐車料金 ※1台につき1回	普通自動車・小型自動車・軽自動車		1,000円	
	大型車 (※全長6m以上)		6,000円	
台数	普通車/小型車/軽自動車	220台	大型車(※全長6m以上)	20台

※週末や大型連休等は特に混雑することがあります。時間に余裕をもってお越しください。



美瑛町内でのドローン(無人飛行機)による飛行、空撮は原則禁止しています。

ただし、以下のものは除外します。

※国土交通省及び管轄航空局長から無人飛行機の飛行に係わる許可及び申請承認を受けたもので、かつ地権者の同意を得たものです。

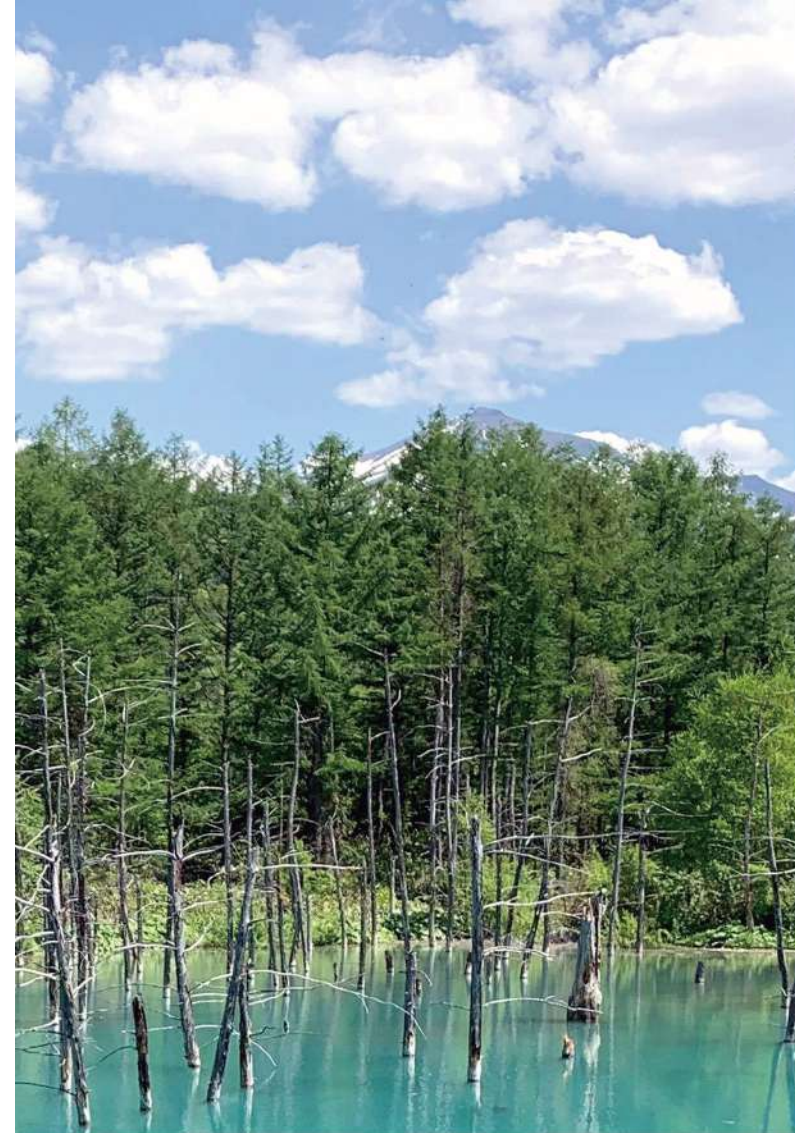
※航空法により一部の飛行は禁止されており承認が必要です

違反した場合は法律により罰せられる事があります。ドローンによる飛行/撮影の許可申請は美瑛町商工観光交流課(0166-92-4321)までお問い合わせください。

■発行：令和8年6月

■発行元：一般社団法人 美瑛町観光協会(0166-92-4378)





青く見える理由

びえい白金温泉の上流にある「硫黄沢川」や「白ひげの滝」等から火山成分を含んだ地下水と温泉水が混ざり、発生したコロイド粒子が、太陽光を浴びて光を反射することで、池の水が青く見えると言われています。そのため、晴れた日であっても雪解け水が多く流れる春は、成分の粒子の割合が変わることで光の波長も変わり、青とは異なる色に見えるようです。

※陸上から見ると水は青く見えますが、水そのものの色は見られません。

